



くふうしてかぞえよう

2024/9/24

No.30

岩瀬和信

「わあ！たくさんある」

たくさんの^{くるま}車、たくさんのイチゴ、たくさんのお^{すし}寿司、たくさん
のケーキ、たくさんのランプ。

各^{かくはん}班の^{つくえ}机に、それぞれのたくさんのものが^{ひろ}広がられています。

「何^{なんこ}個あるかな？」「1, 2, 3, 4, ……」「えー、たいへん」

「ではみんなで^{はな}話し^あ合^{くふう}って、工夫して、かぞえてみましょう」



こちらの班では、全部を2グループに分けて数え始めました。

「こっち19だよ」「私の^{わたし}ほうは13!」「えー、で^た足すの?」「わかんない・・・」「あ、校^{こうちょうせんせい}長先生来た!校長先生19と13足したらいくつ?」

「あれ?答^{こた}えを聞^きこうとしてますね」「いいの、ないしょ」「私は、授^{わたし}業^{じゅぎょう}
を^み見^みに来ただけ〜」

「ではみなさん、他^{ほか}の班のやり方^{かた}を見て回^みってください。わかりや
すいやりかたがあったら、やり方を、盗^{ぬす}んでみましょう!」

1つの班のやり方に注^{ちゅうもく}目^{あつ}が集まりました。

「これ、わかりやすいじゃん」「うちもやろう!」

10ずつのかたまりを作る方法を盗^{ぬす}んだようです。



「それでは、みんなの工夫^{はっぴょう}を発表してもら
いますね。この班からいこうかな」

ランプを数えた班が前^{まえ}に出てきて、先生が撮^とった写真^{しゃしん}を使^{つか}って
説^{せつめい}明^{めい}を始めました。

ここまで、先生は何^{なに}も教^{おし}えていません。

受^うけとりあ^{まな}って学^{まな}んでいます。

だれかの目をみるなんて簡単だけど、

だれかといっしょに同じ世界をみるなんて、めったにない。(ジョン・グリーン)